

活動内容報告書

団体名	特定非営利活動法人 こども家庭リソースセンター沖縄					
直近3か月活動報告	令和8年 1月 日	「ていーだチケット」	6件	17枚	10,200円	
	8年 2月 日	"	3件	26枚	15,400円	
	8年 3月 日	"	31件	290枚	169,215円	

【ファミリーサポート事業】

ファミリーサポートセンター事業は、こどもの送迎や預かりなど子育ての「援助を受けたい人（依頼会員）」と「援助を行いたい方（援助会員）」が会員となり、地域で支える有償の相互援助活動です。利用にあたっては1時間/600円のサポート料金を支払いする仕組みです。

ファミリーサポートセンターの仕組み



寄付金の活用 ⇒ 「ていーだ基金」事業

対象世帯：ひとり親、生活保護世帯、障がい児、多子世帯、非課税世帯、生活困窮世帯等様々な理由によりサポート料の支払が困難な世帯へ「ていーだチケット」を発行(1枚/600円：15枚～20枚)サポート料金として使用

事業の性質上、サポート状況の写真掲載に変えて利用者の「ありがとうメッセージ」「ていーだチケット実績報告書」を添付させていただきます。

コメント

生活困窮世帯を地域の大人が担うことで社会と繋がり（虐待の未然防止）孤立せずに子どもの健やかな成長を見守る事ができる事業の必要を実感する一方で、沖縄県全体の課題として子育て支援・仕組みの隙間が多く取り組みが弱い。活動依頼内容で長時間、多子世帯、緊急依頼など長期的にサポートが必要な世帯も多く、支援の厳しさ+資金の財源確保もNPO法人運営の課題となっている。当NPO法人への活動にご理解を頂き、継続的な支援を頂けることに改めて感謝申し上げます。

サンシャインゆいま～る（令和7年度事業）実績報告書

団体名（特活） こども家庭リソースセンター沖縄

事業名 ファミサポ支援 てい～だ基金事業

事業期間： 令和7年4月1日～令和8年3月31日

（1）事業の実施状況・成果

具体的なメニュー名	頻度 (回数)	利用人数 (延べ人数)	実施内容・成果
てい～だ チケット発行 (依頼者及びアドバイザー)	10枚発行 15枚発行 20枚発行		$¥600 \times 450 \text{枚} = 270,000$ $¥600 \times 240 \text{枚} = 144,000$ $¥600 \times 200 \text{枚} = 120,000$ 計 890枚 ¥534,000 申請は各センターのアドバイザーが行う NPOが審査のうえ発行する ファミサポ活動利用後チケットで支払う
てい～だ チケット支払い 件数（人数） (回収：利用者及びアドバイザー)			【月別内訳】 4月：13件14名 140枚 10月：10件10名 45枚 5月：9件11名 98枚 11月：3件3名 14枚 6月：5件7名 102枚 12月：5件5名 17枚 7月：2件3名 35枚 1月：6件6名 17枚 8月：2件2名 35枚 2月：3件3名 26枚 9月：7件7名 58枚 3月：31件37名 290枚 【市町村別内訳】 沖縄市 90件（102名） 北谷町 1件（1名） うるま市 1件（1名） 糸満市 1件（1名） 西原町 2件（2名） 北中城村 1件（1名） 年間合計 96件（108名） 877枚回収 ¥519,475
てい～だチケット 発行を伴う相談事業			

（2）地域住民・関係機関との連携状況

有償ボランティアであるサポーターが子どもの預かりや送迎活動を担い子育てを応援。地域におけるサポーターの養成、行政機関や子育て支援機関（保育園・幼稚園・小学校・学童・児童デイ・子育て支援センター等）、障害福祉関連や生活支援機関などと連携し子育て家庭の支援に取り組んでいる。

（3）取り組みにおける課題・問題点

継続的に活躍してきたサポーターの休会や新規サポーターの減少に伴う担い手不足が課題である。昨今では、物価高騰など社会構造の変化に伴い、サポート料価格改定の精査も必要な状況。利用料値上げしているセンターもある（担い手にとっては子供をみる責任と報酬の低さなど葛藤あり）。また、緊急依頼や多問題家庭の支援がファミサポ事業の範囲内では困難であるといった問題点がある。

（4）次年度からの事業展開

サポーター不足の課題改善のため、今年度は年1回だった養成講習会を年2回開催を行う。周知方法の検討も図りながらサポーターの参加機会を増やしていけるよう努力する。今後とも子育て支援を継続サポートするとともに沖縄県の子育て支援施策の発展に貢献したい

＝応援有難うございます（寄付金を下さった皆様＝事業所様）＝

皆様方のご協力のお陰で子育て支援の隙間（ファミサポ）活動ができます ていーだ基金利用者アンケート結果より



シングルで子どもが4人もいるので生活も厳しい状況です。どうしても保育園や学校の送迎が出来ない時にサポートしてもらえてとても助かっています。毎年ティーダチケットの相談も乗ってくれて安心して利用ができてます。

他市町村から引っ越してきたばかりで、こども達がいると引っ越しの片付けが出来なくて困ってました。サポートを利用して集中して片付けができ本当に助かりました。引っ越しの際に何かと費用がかかり大変だったため、ティーダチケットの発行で助かりました。

パートに行く間に孫の預かりをお願いしてます。自宅にサポーターが来てくれることで安心して仕事に行けます。ティーダチケットがある事で利用ができていることに感謝です。



子どもが入院時にきょうだいの送迎をしてもらいとても助かりました。子ども達の送迎やティーダチケットの応援で心配事が減り子どもの付き添いが出来ました。ありがとうございました。

娘、孫の3世代で暮らしています。私も娘にも持病があり思うように孫の面倒を見ることができません。仕事もできずに経済的にも厳しい中、ティーダチケットを発行してもらい本当に助かっています。サポーターには遊び相手や食事面も相談ができて孫もサポーターが来ることをいつも楽しみにしています！

産後、体調が思わしくなくてサポートを利用しました。経済的にも不安定なことを相談すると、ティーダチケットの案内をしてれました。安心して子どもも預かってもらい私もゆっくり休むことができました。本当にありがとうございました。

【利用者意見から】

依頼者とサポーターからの意見

依頼者「有難い・感謝・助かった 前向きになれた」

「もっとチケット発行して欲しい」他要望あり

△サポーター「有償ボランティア」の仕組みの

良さを発揮するためにこの事業が大変良い

【課題】沖縄の子育て家庭問題が見える場所（アンテナ役割）

- ① 長期に亘って送迎・一預かり等 ていーだチケット発行対応に限界（保育園徒歩圏内必要＝運免無い保護者＝車社会の問題 保育園・学童不足他）
- ② 貧困家庭の多さ・多様な家族形態（母子・父子・ステップファミリー・外国籍家庭・若年出産家庭・祖父母育児他）・**家族資源脆弱**等特徴あり